

様子を表す語 ③ 形容詞・形容動詞の補足

月 日  
名 前

1 形容詞・形容動詞の語幹の用法

① 語幹だけを用いて、感動を表す。

・ あつ、痛(つ)。  
・ まあ、素敵。

② 語幹に接尾語の「さ」「み」などをつけて、名詞に転化する。

・ 強+さ⇨強さ  
・ 暖か+み⇨暖かみ

2 形容動詞と名詞+だ (断定の助動詞) との見分け方⇨「とても」をつけて確認する。

・ これは彼女の**本だ**。(名詞+だ)

・ これは彼女の**本だ**。(名詞+だ)  
・ これは彼女の**本だ**。(名詞+だ)  
・ これは彼女の**本だ**。(名詞+だ)

・ 発想はユニークだ。(★形容動詞)

一 次の名詞が形容詞の語幹からできているならばA、形容動詞の語幹からできているならばBと書きなさい。

① 若さ A

② 立派さ B

③ のどかさ B

④ 赤さ A

若い+さ

立派だ+さ

のどかだ+さ

赤い+さ

二 次の形容詞・形容動詞に接尾語をつけて名詞に直して書きなさい。

① 幸福だ

幸福さ

② 厳しい

厳しさ

③ よそよそしい

よそよそしさ

④ 誠実だ

誠実さ

⑤ 失礼だ

失礼さ

⑥ 小さい

小ささ

三 次の各文の—線部が形容動詞であるものを選び、番号に○をつけなさい。

1 我が校の野球部員に求められているのは、くじけない**根性だ**。

② お父さんの**運転する車のスピード**は非常にゆっくりだ。

3 それは**多くの辞書**ですので、使う前に声をかけてください。

④ 彼はアルバイトの経験が**豊富**なので、ぜひともうちで働いてもらいたい。

5 三年二組の生徒の中で、**特に君**がいちばん目立っている。

